

寝取られ女

アナル

信じて送り出した相棒が
レジスタンスのアナル奴隷に
なっていた件

アナルオニオン

本編:83ページ
文字無し差分+α:92ページ
合計:175ページ

最近2日との別行動が増えた気がする。

長く行動を共にする中で

感情というものが芽生え

仲は良くなったと思う。

彼女はレジスタンスの人々とも

かなり仲が良くなったようだ。

。。。良くなりすぎてしまったのだ。

どうしたの？ボーンとして。

あーいぬん2B。

少し考え事をしてたんだ。



何か問題があるのか？

協力が必要なら手伝うぞ？

いやー大丈夫、なんでもならよ。



おーじー2B

ちよつと手伝つて欲しいんだが

一緒来てくれるかな？

ん？ ああ分かった。

すまないうさ

先にバンカに取ってきてくれ。

……ん、了解。

じゃあまた後で。

……いんな感じで

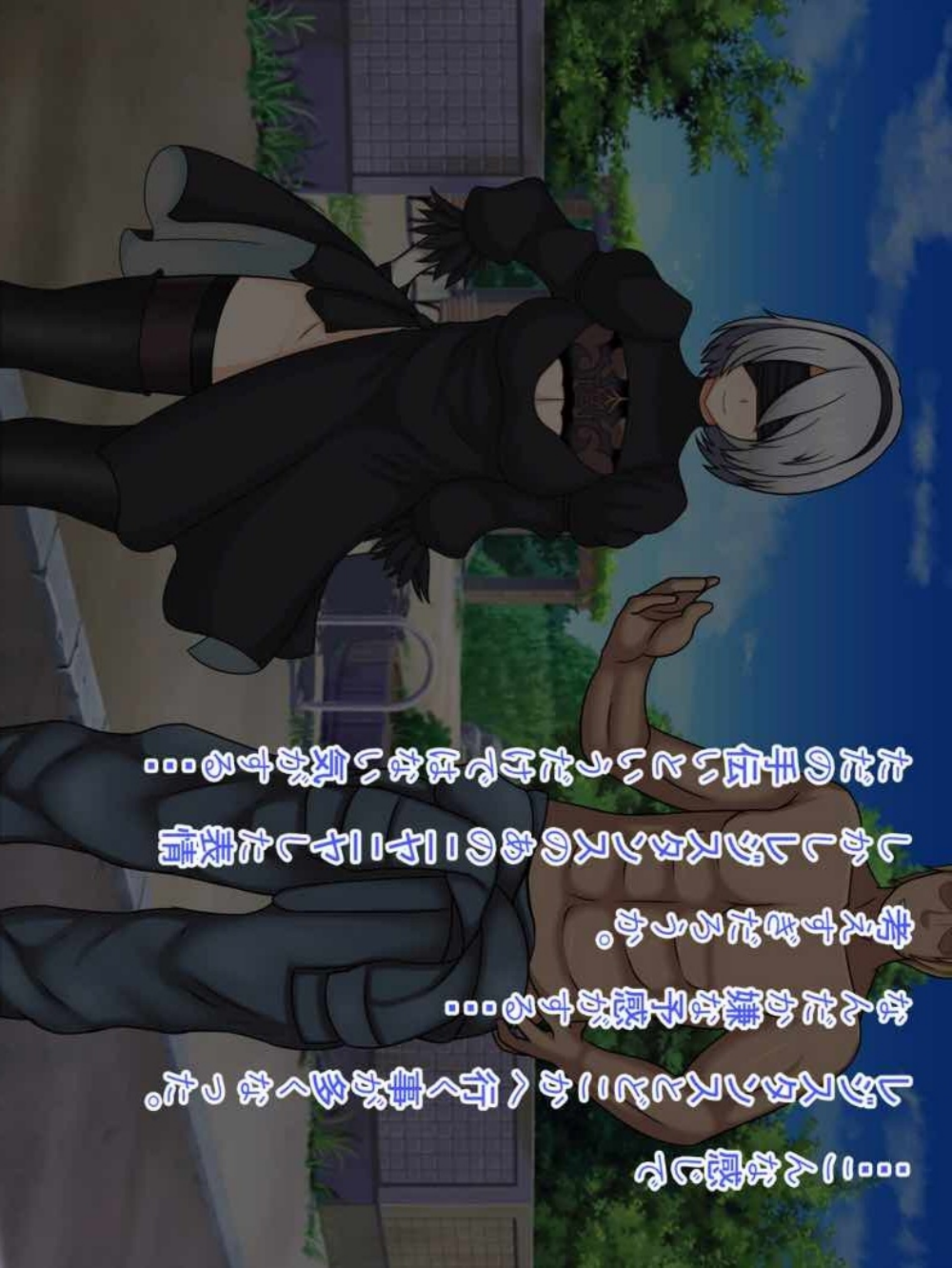
レジスタンスとゼニがく行く事が多くなつた。

なんだが嫌な予感がする……

考えすぎだろうか。

しかしレジスタンスのあのニヤニヤした表情

ただの手伝いぐらいだけではなう気がする……



その日の夜

僕は2Bが休んでくる部屋に忍び込んだ。

2B<ハキハキ>をして記憶領域を探る事にしたのだ。
引け目を感じるがズンしても気にななくなってしまった。
そして僕の嫌な予感はお甲斐ないままだったのだ。

『これは……の部屋が』

『僕との別行動が増え始めた前目か』



『あれは……さっきのビジネスマンの男が…』

『一体何を……!?!』

ぐっ。。。なんだこれは。。。!!?

おい！ーこれはなんのつもりだ！

が
が
が

が
が
が

が
が
が

いやーいつもエロイ恰好して誘ってるもんだから男として誘いに乗ってやろうと思っただけ

ふざけるな……ぐっ!?!?

なんだそれは……!?!?

せっかくだから2Bにも

楽しんでもらおうと思っ

てね
感度が上がるウイルスだよ

しびん……

なあに1時間もすれば自分から

チ○ポを欲しがるようになるさ

ぐっ……あっ♡

くそっ……そんなおもちゃで

私が屈するわけが……っ

あとっいでにこれも……っ

グ
イ
イ
イ
イ

一晩我慢できたら何もしねえよ

まあ我慢できれば……だがな



～3時間後～



トロキョー……♡

んぐぅっ……♡

やめろ……♡

まだ私はっ……♡

んぐぅっ

んぐぅっ

トロキョー

グイグイグイ

よく我慢してるが……

もう限界が近いみたいだな。

もうトロトロじゃねえか

どれ、そのトロケ顔を

拝ませて貰うとするか。

ハハハハ!

もう限界って顔だなあ……?

我慢しない方が身のためだぜ?

グイグイグイ

トク……

クソツ……

分かったから早く済ませろ……っ♡

……まあいいか
それじゃあお楽しみだ

ひびく……?♡

んんんんん

オラァ!

お待ちかねの手○ポだ!
くらいやがれ!

どうだ？

我慢した分快感も

増幅されてるだろう

別に我慢せずに声出せばいいんだぜ？

ひぐっ……♡

フー
フー……♡

誰がこんなモノで感じるものか……っ♡

ぬぷん

んっ♡あひっ……♡

はげしっ……♡

んっ♡

あひっ♡

誰がイクかっ……♡

ぐうっ……

思った通りぢゃい締まりだ……っ

おはっ♡おはっ♡

そろそろイクぞ！

お前もイケっ！

おはっ♡おはっ♡

イツ…ゲウ…!!

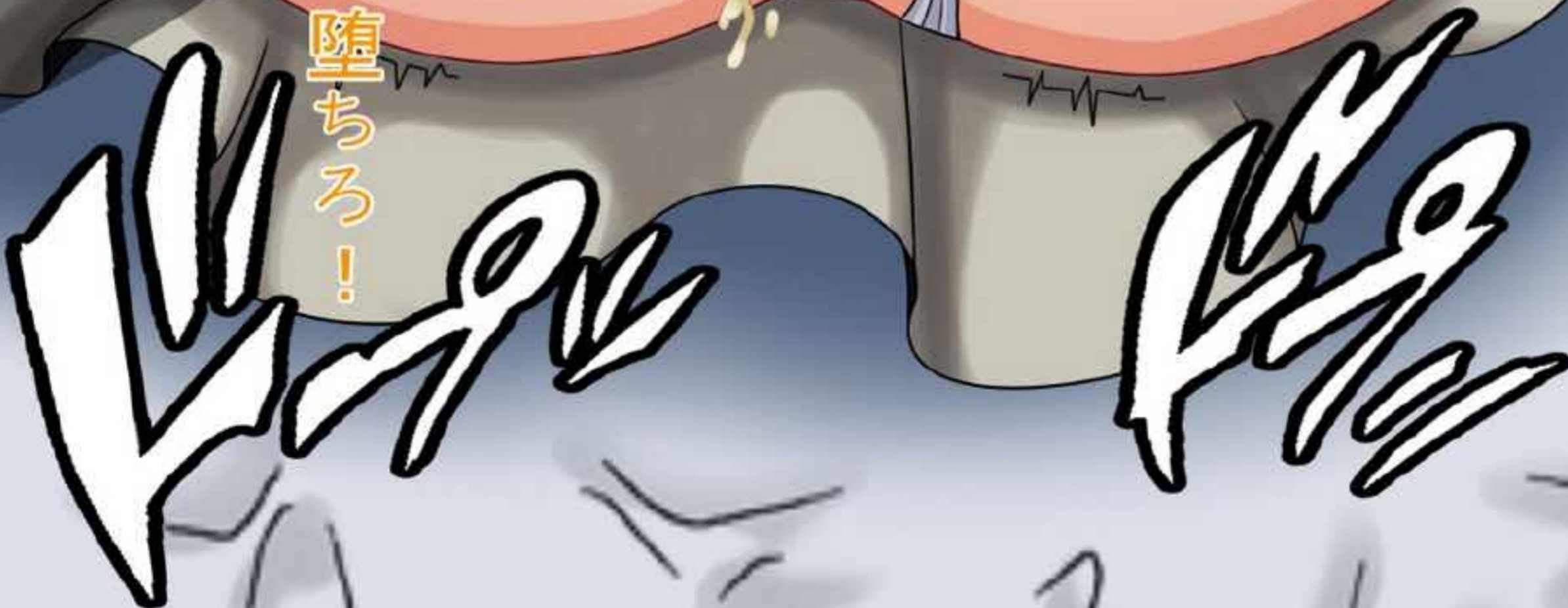
んひいひい…!!

ん

も

おら! ケツ穴射精で墮ちろ!

射精るっ!



んっ……あへ……♡

わ、わかったから……♡
もう許してくれえ……♡

これからお前は俺たちのアナル奴隷だ！
分かったか？

よし！奴隷記念に一晩中犯してやる！





そして二人のセックスは「晩中続いた...

『こんな事になつてくたなくて...』

そんな事を思ふ自分とは裏腹に

興奮してゐる自分がいた。

最初はシジスタンス共を

一掃してしまつた。気持ちに

なつたがしばらく観察する事にした。



結局一睡もできずに朝になってしまった...

おはようさ



ん、どうした？顔色が悪いが...

いや、大丈夫だよ。

今日は周辺の調査に...

おーっす、お二人さん！



ぐっ...やるせうっ

俺たちの仲じゃねえか
なんだよつれねえなあ

うっ...お前が...

よお2B'どうだ調子は(笑)

いっやなぐでまなじ...んっ♡

顔が赤いけど...

どうしたの2B?

(ハハハ)

おっ...♡

んっ...♡♡...んっ♡



『やっぱりエロいケツしてやがんなあ』
『ちよっとイタズラしてやるか』

い
た
ず
ら

い
た
ず
ら



ひぐっ……♡

く……ちん

「こ、こんな所で……」

「osにバレてしまうっ……」

あんまり変な声出したらバレるぞ（ボソツツ）
まあ俺はバレてもいいけどな（笑）

ぬわん、
ちん、



大丈夫2B?

顔が赤いみたいだけど……

はあ

はあ

い、いや……なんでもない……っ♡

気にしないでくれ……っ♡

『バレないように切り抜けないと……っ』

ぬほん



す、すまないが私はこいつに少し用があるから

先に行つててくれ……っ♡

う、うん分かったよ

じゃあ先に調査に行つてるね

キュッ♡

キュッ♡

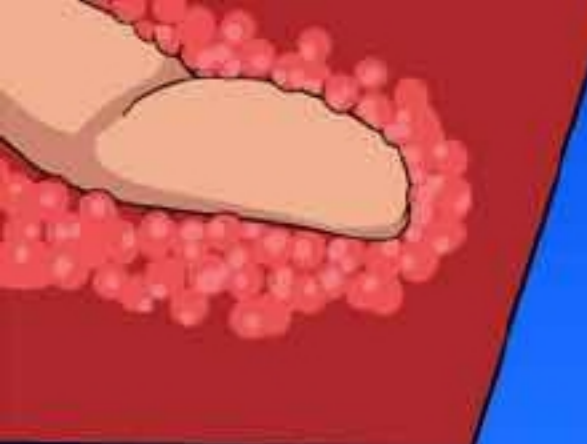
キュッ♡

んっ……♡

あっ♡あぁ……すまない

だっ♡





んほおおおつ♡

ひぐっ♡んんうっ♡

びん♡ん♡

ほおあ♡あ♡あ♡

びん♡ん♡



危うくバレる所だったなあ

今日の夜もお前の部屋に行くから

よろしく頼むぜえ(笑)

はあっ……♡んはっ……♡

『あ、危なかった……♡』

トキ……♡

別の目、僕はまた2Bをハッキリ見つけた。

やはり僕と別れた後に

あの男に弄ばれていたようだ。

場面は切り替わって夕方になっていた。

またあの男が2Bの部屋に来ていた...

悔しいのに興奮している自分に嫌悪感を覚え...

僕は目が離せなかった

わ、わかったっ...♡
くっ...♡

とっぴあえず服従のキスでも
してもらおうかな？

ハ...ッ

なんだこの凶悪な母は...
#は...

「この前は暗くてあまり見えなかったが

それじゃあまっすは口で
奉仕して貰おうか

...

『いんぼも…嫌いなズなの…』
逆えなら…っ♡

てんてん
てんてん

てん

ちゅっ♡…っ♡

ちゅっ♡…っ♡

んっ♡…っ♡



はっぴー♡...

女房

わ、わかった...

ん♡...

しっかり味わえよ？

それじゃそろそろ啜えてくれよ



『ロの母で... ンがとて喜んだ... ♡』

ぐんぐんぐん ♡

シュー

シュー

おら射精すぞ!!
零すなよ!

♡ ♪ ㄣ ㄣ ㄣ ♪ ♪ ㄣ ㄣ ♪

♡ ♪ ㄣ ㄣ ♪ ♪ ㄣ ㄣ ♪

♡ ♪ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ♪

♡ ♪ ㄣ ㄣ ♪

♡ ♪ ㄣ ㄣ ♪

♡ ♪ ㄣ ㄣ ♪

♡ ♪ ㄣ ㄣ ♪

尿道に残ってるのも全部吸い取れよ!!!

♡ ♪ ㄣ ㄣ ♪



そ...そんな...♡

あぁ♡

あぁ♡

な...なんてまだ一人なに...

ぶはっ♡...はぁっ♡

えっ!

オラ! 茨はまたサツア犯してやるよ!

一回くらいで萎えるわけなにじやねえか

おら、自分で挿入してみろよ

トロけた顔しやがって

はあ

はあ

わ……わかったから……っ♡

うぐっ……♡さつきより大きくなってる……っ♡



太いっ……♡

ひぐっ……♡

あぐっ♡

せ、急かすなっ……♡

そんなのんびりしてたら朝になっちまうぞ？
さっさと奥まで入れちまえよ

お尻の穴

ひん

あひっ♡!

そんないきなり奥までっ♡!

じれっつてえなあ!

こうするんだよ!オラツ!

にやろかた

わ、わかつてる……っ♡

あっ♡んっ♡んひっ♡

んん

んん

ほらほら自分で動いてみるよ

おっ……ぐうっ

だんだん上手になってきたじゃねえか

んん

んん

んん



んっんっんっ♡ふっふっふっ♡ひぐっ♡
は...はひっ♡
はあ♡

うぐっ...もうイキそうだった...
おらー！ラストスパートだ！
もっとケツ振れ！

110名

110名

110名



はあ...
はあ...

あへっ...
あへっ...
♡

はあ...
はあ...
♡
はあ...
はあ...
♡

はあ...
はあ...
ふうっ...
ふうっ...

お前ももうすっかり淫乱女だなあ(笑)
だらしねえ顔になりやがって

はあ...

あ♡

は…はいっ♡

もっと欲しいですうっ♡

おら!!

いつまでもアへってんじやねえよ!
まだ終わりじやねえぞ!





夕暮れから始まったセックスは

結局また一晩中続いていた...

最初は抵抗を示していた2Bも

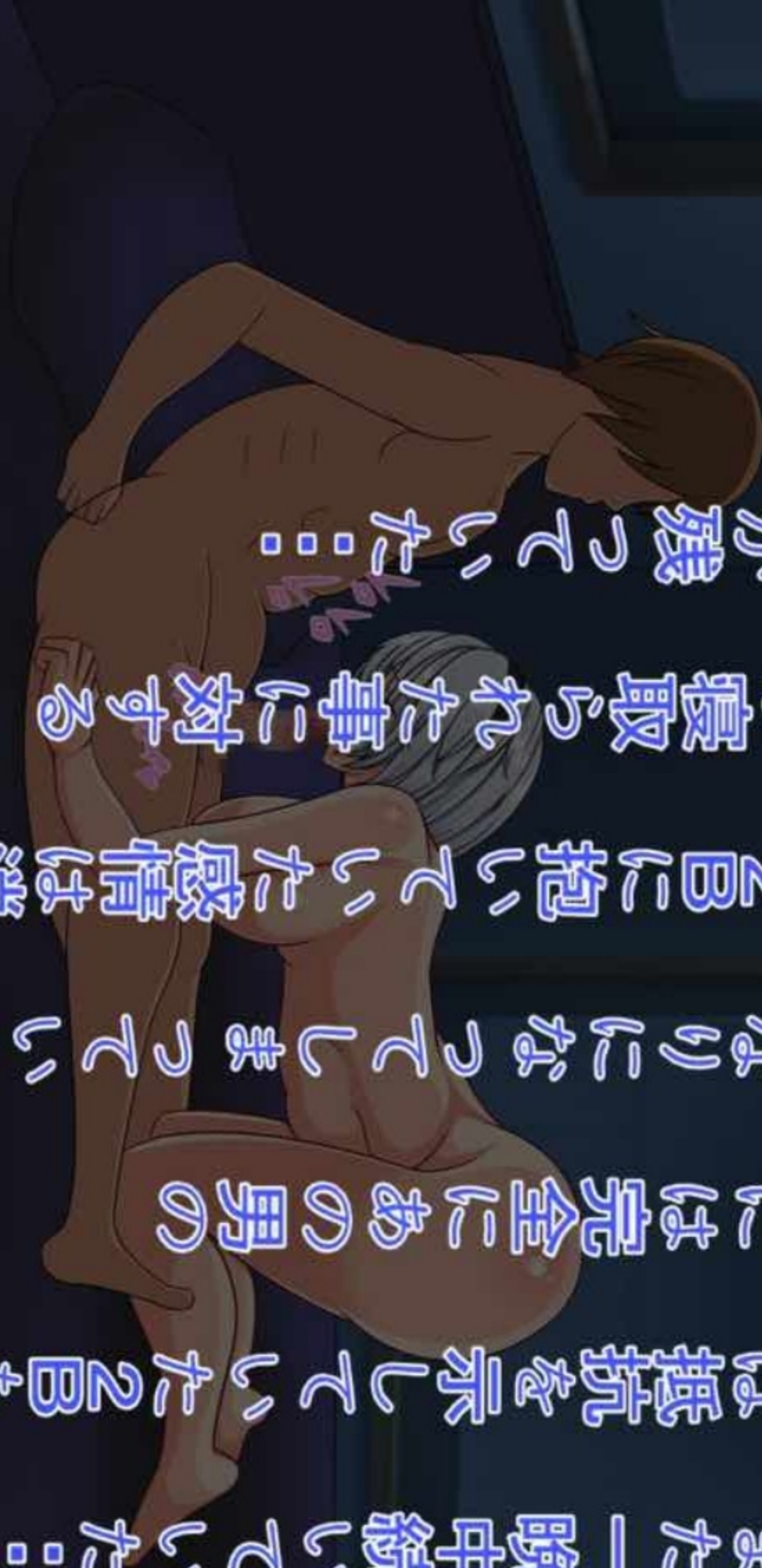
最後には完全にあの男の

言いなりになってしまっていた...

僕が2Bに抱きつけた感情は道え

2Bが寝取られた事に対する

興奮が残っていた...





そ...そっか...

ああ、二の方が動きやすいと思っ

2B...その...スカートはどの

あああはよう...!!?

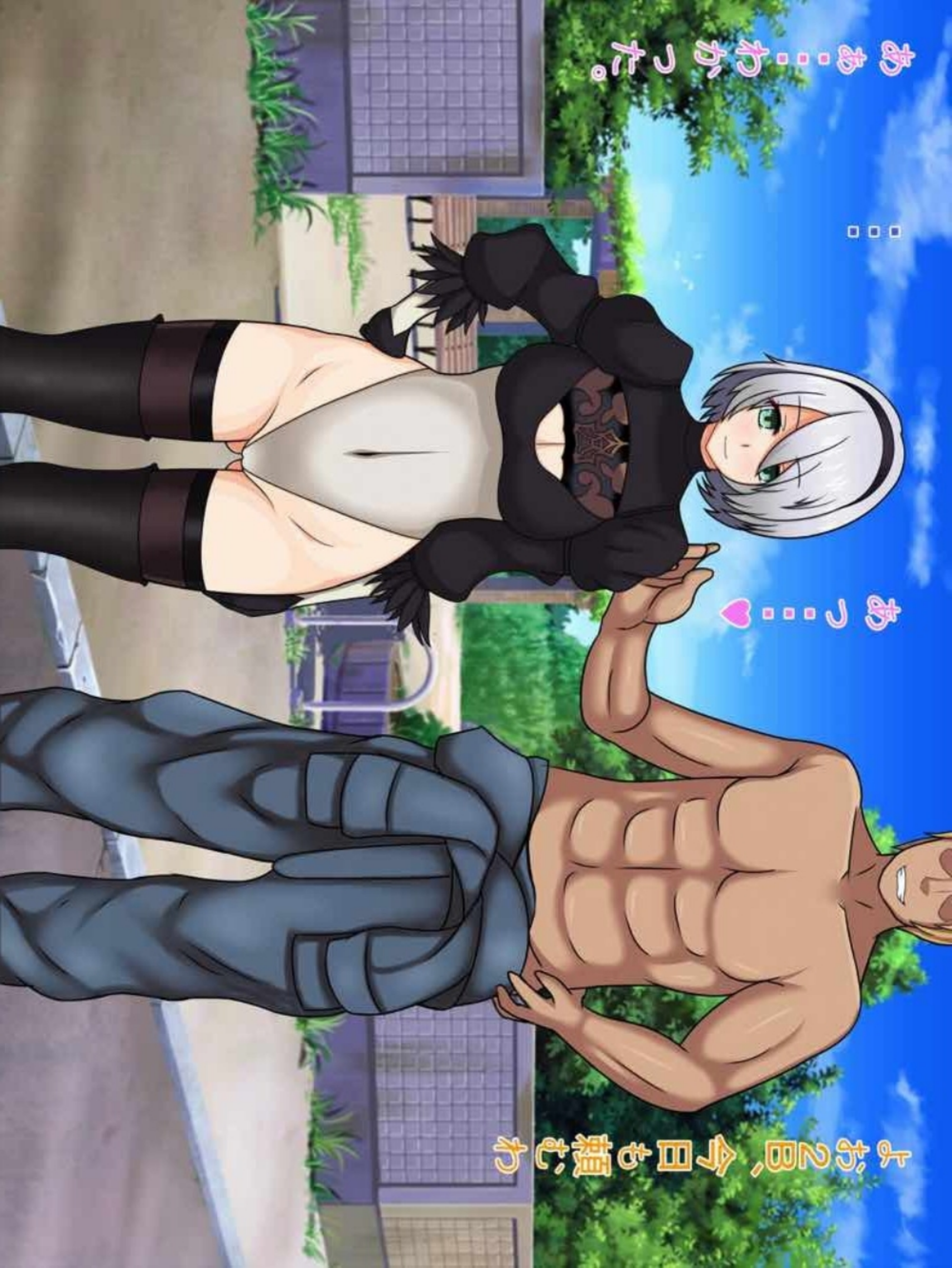
あはよう

ああ...わがった。

...

あ...♡

ぞぞ20'今日も頼むわ



あ……ああ。

分かったよ、じゃあ僕は行くね。



今日も一人で調査を頼む。

すまじがさる

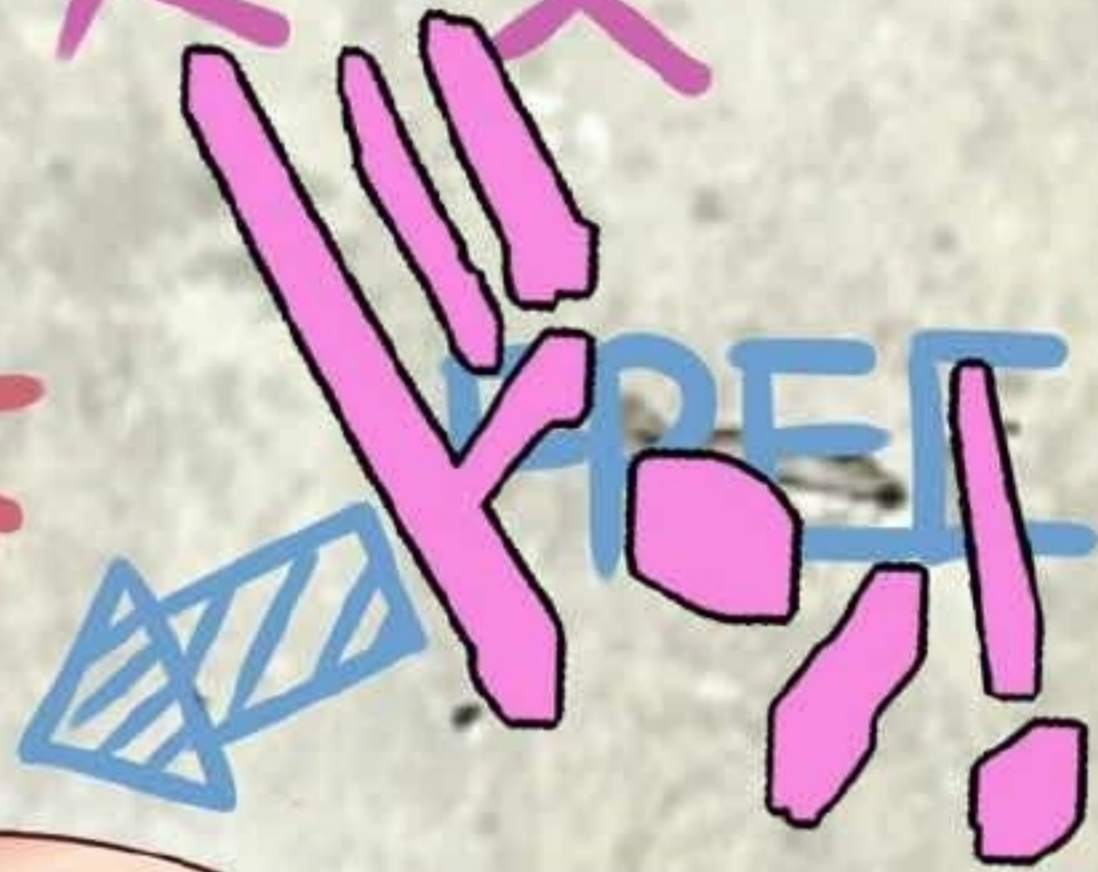


今日も相棒借りるぜ

すまねえな

女便衆公

器便儿



今日は丸一日

レジスタンス専用の肉便器係だ！

しっかり奉仕しろよ！

更

女
便器

はあっ♡はあっ♡

こんな道具みたいな扱いっ…♡



よし!じゃあお前ら!

存分に犯しまくってやれ!

更

四

ああっ……♡

あ

と

これから一日中犯されるなんて……♡





あー

きたあー!♡
ひぐっ!♡

女

マホ

FREE

女

入

激しいっ...♡
いきなり...っ♡

女

これじゃすぐっ...♡

110

110

110

110

110

110

110



はぁはぁはぁ

女 震

ひぐううううう♡

FREE

あついのまじるうううう♡

ム

ム

ム

ム



女

あひつ♡しゅ♡

♡ぶ♡

FREE

どっ

こんなのを一日なんて♡
壊れるう♡♡

マ



オララ！一人目でアへっってんじやねえぞ！

女更

はあ

おめめ♡♡♡

おめめ♡♡♡

みんな好きなだけ犯してやれ！



女便衆公

~3時間後~

マナル便器

FREE



~7時間後~

女便衆

才口

マナバツ器 FRED



もうだめっ……♡

あへっ……♡
しゅーっ……♡

女

しゅーっ……♡
あへっ……♡

マナ

FREED



ハツキングの映像だけでは

我慢できなくなつた僕は

夜に2Bの部屋のクローゼットに

忍び込んだ。

すると予想通り2Bとあの男が

部屋に入ってきた。

それじゃさっそく始めるか
おら、服脱げよ

ああ……♡

わかった……♡



A muscular man with a blue jacket and a woman with short grey hair and large breasts. The man is on the right, shirtless, with a blue jacket tied around his waist. He has a confident expression. The woman is on the left, nude, with short grey hair and large breasts. She has a slightly nervous or questioning expression. The background is dark, suggesting an indoor setting at night.

相変わらずエロい体だぜえ
今日も寝かせねえからなあ

んっ……♡

これでいいか……？♡

ハハハハ!

すっかりケツ穴がチ○ポに馴染んだなあ

チ○ポ

はあっ♡んっ♡

あなたのチ○ポで毎日犯されたら

こうなるにきまつてるじゃない……っ♡

あぐうっ!♡
そんな激しくしたらすぐにっ♡
イツちやうっ...♡

もう完全に墮ちちまったなあ!
オラ!しっかりとケツ穴締めろ!

アゲッ

アゲ

アゲ

アゲ

アゲ

アゲ

イクウウウウツッ！
奴隷アナルに
いっぱい射精
してええっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



はひいいい……♡
もっと欲しいです……♡

はあ……♡はあ……♡

しゅわん♡
しゅわん♡
しゅわん♡

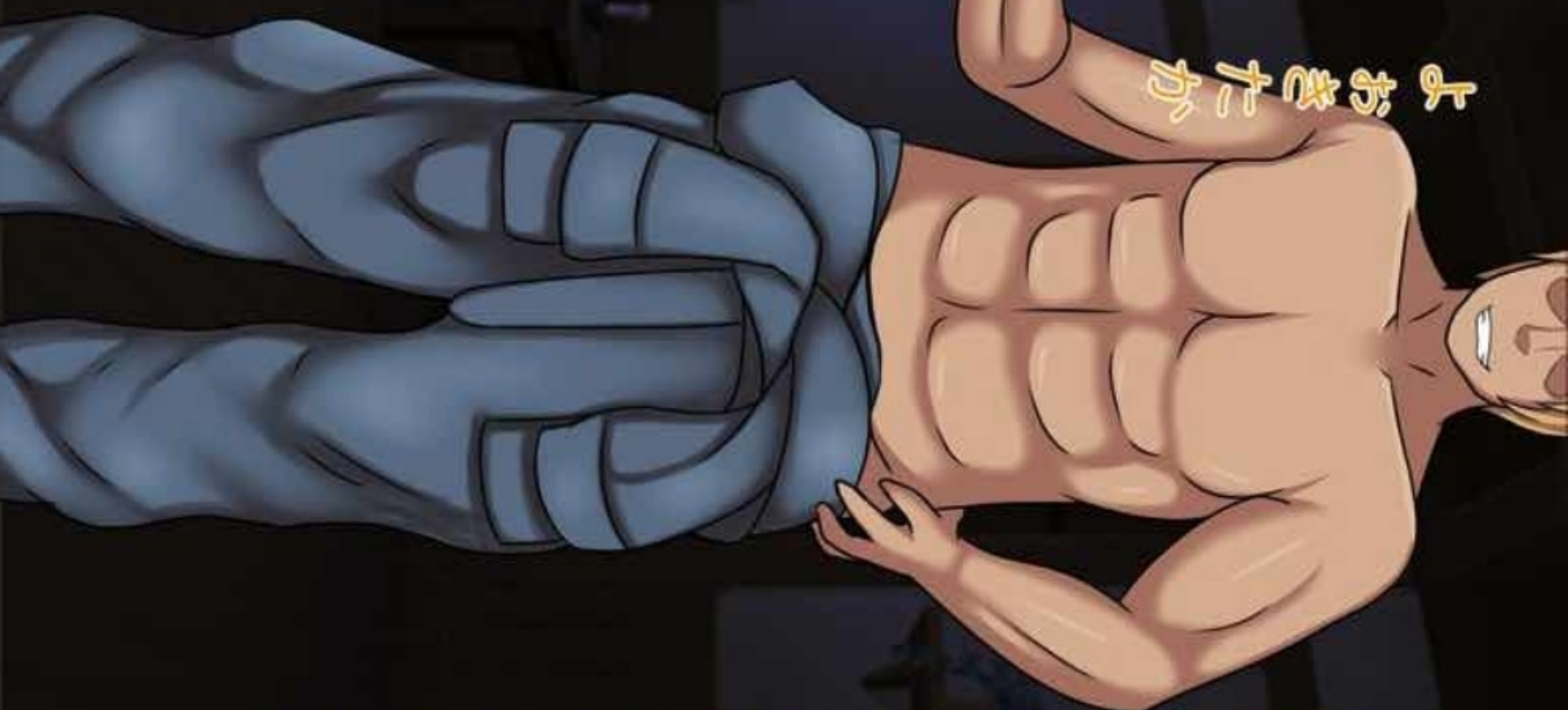
あ♡

うっ……ふっ……
どうだ……？
まだまだちのポ欲しいか？

にゅわん♡
にゅわん♡



おいおい先にさっばじめてくじやねえよ！



よおきだが

え...

この人達は...♡



今夜はみんながで乱交パーティーだ！

この淫乱アナル奴隷を犯しつくしてやれ！

おら！相棒に謝れよ！

任務ほったらかして

ケツぱっかり振ってる淫乱女が！

ヌメヌメ

あぁっ……♡

チ○ポがこんなにいいっばい……♡

レジスタンスのアナル奴隷になりましたあっ♡

私は……っ♡

ご、ごめんなさいosss……♡

は、はいっ♡

おは♡

ぐっほ

ぐっほ



ハハハハハ!

良く言った！おら！ご褒美だ！

すっかりおねだりしろよお！

ひぎっ♡♡♡

射精してえっ♡

アナル奴隷にご褒美ザーメンくださいっ♡

ひぎっ

ゴッゴッ

ゴッゴッ



ドドド

おら! 射精すぞ!

しっかり受け止めろお!

ドドド

あひい

あひい

あつ

あつ

あつ

あつ



はあっ♡はあっ♡

すごいっ...♡

みんなまだガチガチ...♡

フー...

フー...

ド
ロ
オ

フ
...
...

まだまだお楽しみはこれからだぞ！

一晩中犯してやる！

おっ

はっ♡はっ♡

もっ♡とっ♡

いっぱい犯してください♡



...

結局2Bは1晩中レジスタンスに

犯され続けた。

僕も動く事ができず

ずっとそれを眺めているしか

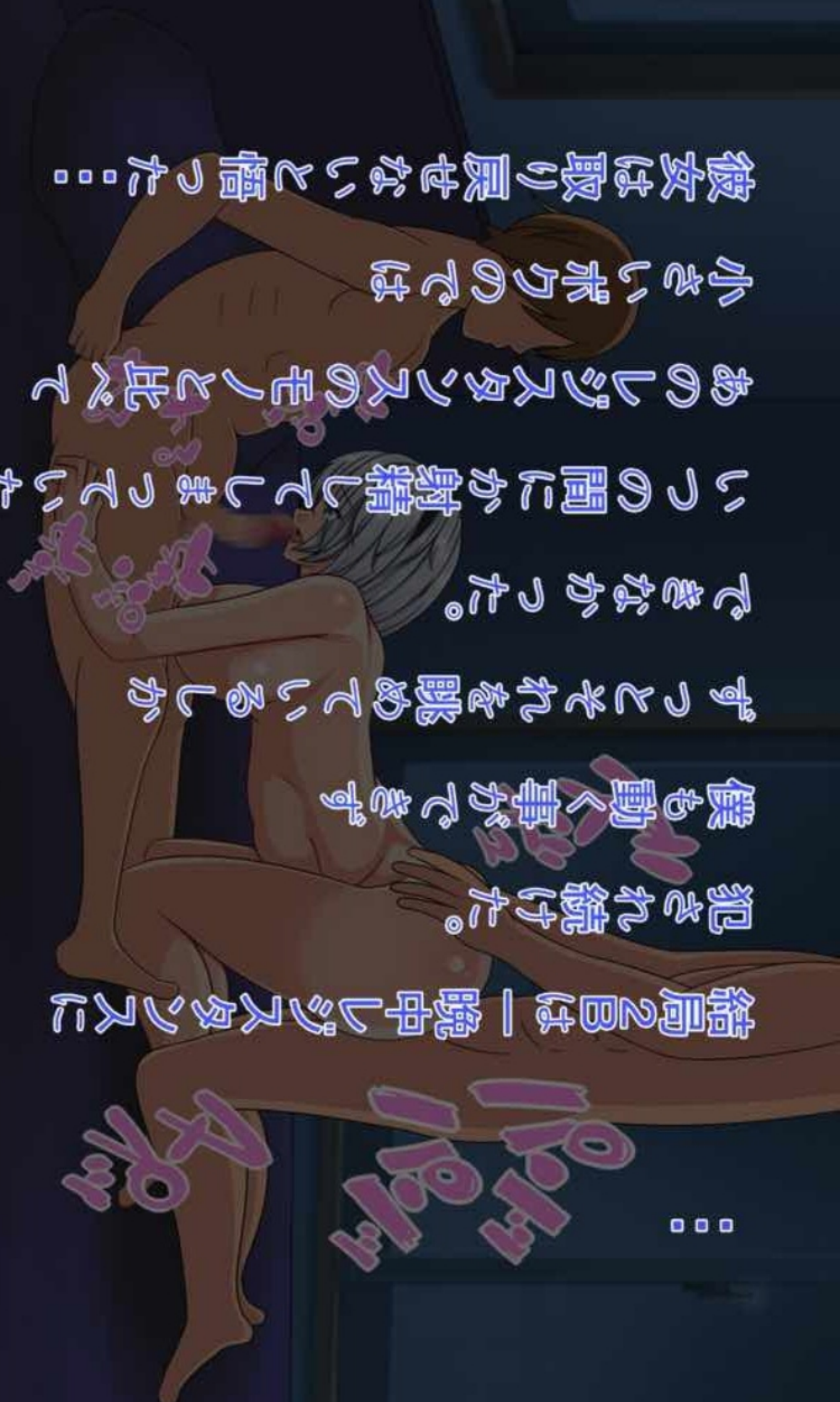
できなかつた。

この間にか射精してしまつていた...

あのレジスタンスのモノと比べて

小さいボクの中では

彼女は取り戻せないと悟つた...



ヒロローグ

その後も僕は気づがないうつりをして

彼女の観察を続けた。

表面上は取り繕っているようだが

レジスタンスへの態度が明らかに変わっている。

彼女からは常に精液等の臭いが漂っている。

しかしその様子を見て僕は興奮してしまっただ。

これからも彼女の犯されていく様子を

観察していく事にする……



あ、あそんだが、すまじ

今回もレジスタンスの人の手伝いを？

あ、あそん2ND

あそん3S

それじゃあ僕は行くよ

また後でね。

あつ♡

あつ……♡

すまないなつ……♡

また後で……♡

チンポ
大好き

メス豚

アナル
奴隷

正丁

グ
イ
イ
イ
イ

OFF
ON

はあ

はあ

はあっ♡んんっ♡
ぞん♡ん♡
ぞん♡ん♡

パレる所だったっ♡♡♡

このスリルがっ♡♡♡
気持ちいいっ♡♡♡

チンポ
大好き

メス豚

アナル
奴隷

正丁

イイイイ

OFF
ON





お尻
お尻

お尻

お尻

～おわり～

×ス豚



お尻
大好き

正丁

アナル
奴隷



グ
イ
イ
イ
イ